

科目名	成人看護Ⅴ (運動・神経・筋機能障害の看護)				DP1、DP2 DP3、DP4	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門 成人看護	時間数	23時間	担当 教員	外部講師
科目概要	看護職者として必要な運動・神経・筋機能に障害のある患者の看護について学ぶ。						
到達目標	1. 主な運動器・新駅・筋の疾患の看護の目的、特徴を知り、治療に伴う看護を理解する。 2. リハビリテーション特徴を知り、リハビリテーションに伴う看護を理解する。						
回数	単元項目	授業内容			形態	担当教員	
1～4	運動機能障害の看護	運動器疾患の基礎知識 運動器のしくみとはたらき、診察と検査、おもな治療法  おもな疾患 変形性関節症（膝・股関節）、脊髄損傷  患者の看護 共通する看護、症状に対する看護、診察・検査を受ける患者の看護、治療・処置を受ける患者の看護、運動器疾患患者の看護			講義	外部講師	
5～8	神経機能障害の看護	脳・神経疾患の基礎知識 脳・神経のしくみとはたらき、症状とその病態生理、おもな検査、おもな治療  おもな疾患 パーキンソン病、脳梗塞、脳出血  患者の看護 共通する看護、診察・検査を受ける患者の看護、症状および障害に対する看護、脳・神経疾患患者の看護、手術（開頭術）を受ける患者の看護			講義	外部講師	
9～11	リハビリテーション看護	1. リハビリテーションと看護 リハビリテーションとは、チームアプローチによるリハビリテーション 2. リハビリテーションの実際 (ALS・脳梗塞（失語・失認）：退院前訓練) リハビリテーションの流れ、リハビリテーションの内容 3. 患者・家族の主体性を引き出す看護 ADL機能向上のための援助、患者・家族への教育			講義	外部講師	
12	試験（1時間）				試験		
評価基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学 10 成人看護 [2] 血液・造血器 内分泌・代謝 脳・神経 運動器 [特論]リハビリテーション看護 医学書院						
履修上の 注意点							